

第3回島田市都市計画マスタープラン等 まちづくり市民会議 議事録

◆日時：平成30年9月5日（水）18：45～21：00

◆場所：島田市役所会議棟大会議室

◆出席者：

○まちづくり市民会議委員（15人）

区分	氏名	職業等（所属）	備考
公募	権田 真知子	自営業（ヨガインストラクター）	
	荒井 浩介	会社代表（(株)荒井建築計画事務所）	
	戸塚 康之	会社役員（(有)アスカエンジニアリング）	
団体推薦	佐久間 章次	島田商工会議所	会長
	木村 恭輔	島田青年会議所	
	鶴川 忠章	島田市社会福祉協議会	
	新聞 康博	島田市自治会連合会	副会長
	太田 拓男	島田市自治会連合会	
その他	北川 有香	男女協働参画啓発推進委員	
	田代 紗莉依	静岡県立大学 薬学部	
	鈴木 悠	静岡福祉大学 社会福祉学部	
市職員	堀崎 大二郎	地域生活部 協働推進課	
	北川 未奈子	行政経営部 人事課	
	安達 佑美	教育部 社会教育課	
	杉浦 元紀	支所 川根地域総合課	

（事務局）：島田市都市基盤部

都市政策課 大畑課長、平松課長補佐、大池係長
中野主査、田村主任技師、遠藤主査

（事務局補助）：株式会社オオバ名古屋支店 小柳、丸山、竹内

◆会議次第

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 事務局説明
4. 議題
 - (1) 前回の振り返り及び資料説明
 - (2) グループ討議①
 - (3) グループ討議②
 - (4) 全体討議
5. その他
6. 閉会

◆配布資料

- スライド資料
- 未来ノートのまとめ
- ワークシート
- 未来マップ

◆議事録

【1. 開会】

(事務局)

皆様、こんばんは。ただいまから、「第3回まちづくり市民会議」を開催いたします。
それでは、はじめに会長より一言ご挨拶をお願いいたします。

【2. 会長あいさつ】

(会長)

皆様、こんばんは。昨日、日本列島を襲った台風21号は大変な猛威で、各地で被害が出ていました。もし、島田市に来ていたらどうなっていたのだろうと色々なことを考えさせられ、強靱なまちをつくっていかねばいけないなと感じました。

最近、静岡市へ行きまして、皆さんも既にご存じかと思いますが、七間町の昔の映画館のある通りの一角がリニューアルしてまちが大きく変わっていました。そこにはある人物がいるのですが、その方と話をしたら、まちを変えていくためには、強い思いを持つことが大切だと感じました。また、これまでのまちから大きくリニューアルすることなどを考えていかねば、まちは変わっていかないと感じました。そこには普通の民家もあれば商店もあり、こんな建物でいいのかと思うような施設や昔の建物からリニューアルしたのだと思う建物が多くありますので、もし皆さんも時間がありましたら、見ていただければと思います。

今回も皆さんと知恵を出し合って進めていければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【3. 事務局説明】

(事務局)

それでは、事務局より今回の内容とまちづくり市民会議全体の流れについて、ご説明します。

(資料説明)

以上で、事務局からの説明を終わります。続いて、本日の議題に入りたいと思います。これからの進行はオオバの方から進めていただきます。よろしくお願いいたします。

【4. 議題説明】

〔議題(1). 前回の振り返り及び資料説明〕

(株)オオバ

(前回の振り返り及び本日の進め方について、資料説明)

〔議題(2). グループ討議①〕

(株)オオバ

(ありたい都市の姿について、説明)

(株オオバ)

(グループワークの結果を発表)

【Aグループ】

Aグループは、「笑顔あふれる安心のまち」ということで、3つの視点から考えました。まず、安心という視点では、一つ目に「医療・福祉サービスが安心して受けられるまち」という点で、ここでできることはAIやICTの利用や在宅看護、住宅介護の充実などが考えられます。施設で暮らすのではなく、自分の住み慣れた自宅や地域で暮らしていけるように、在宅で受けられるサービスを充実させていけたら安心かなと思いました。また、病院と連携することで、より専門的な治療やサービスを受けることができるという点も大切かと思いました。

二つ目に、「子育てと仕事の両立ができるまち」という点で考えました。ここでは時間に縛られず仕事ができるという視点で、在宅で仕事をするものや子育てと両立できるような仕事をしながら、子育てしている仲間と集まれる場所や機会をつくることで、子育てを仲間や家族で助け合いながら、地域を巻き込んで行えるのではないかと思いました。

三つ目に教育の充実という点で、前回の会議にもありましたが、大学を誘致したり、小中学校で勉強以外にも、人間関係の勉強もできるのではないかと思いました。

最後に、笑顔あふれるまちというところで、歴史や自然の魅力をそのまま活用して観光客を集められるような取り組みができたらいいと思いました。島田市ならではのお茶や農作物で観光客をもてなしたり、自然を体験できるようなサイクリングロードを整備したり、スタンプラリーのように各地を見て回れるルートを整備していくのも良いかと思います。島田市は宝の山という言葉を上げていますが、色々な自然や魅力があるので、大井川地区にある温泉や金谷地区のような自然豊かな場所を開発しすぎるのではなく、そのまま活用して、観光客を集めていけたらと良いと思います。

【Cグループ】

今のグループワークの中で、「島田市の未来 笑顔あふれる安心のまち」をCグループなりに一言で表すと、まずターゲットはファミリー世代で、結局何をするにも人口が保たないと市として今後成り立っていかないのではないかと考えました。具体的な例として、フリーのネット環境を整備するだとか、魅力的な企業の誘致など色々上がりましたが、様々な意見をまとめ、「いつも子どもの声が響くまち」というテーマに決まりました。

【Bグループ】

Bグループは、「笑顔あふれる安心のまち」というフレーズから連想するものは、まちと書いてありますが、まちをつくっているのは人なのでキャッチフレーズの一番根本にあるのは人、人こそまち、なので人を育てるまちというのが一番重要だと思いました。そのため、「人の繋がりが人を育てるまち」を考えました。

福祉、教育、景観、建物など色々な分野に新しい「安心」「笑顔」が盛り込まれていくと思いますが、それを誘導していくのは人なので、これからはまちをつくる優秀な人材をきちんと教育していくのが重要ではないかと思います。

〔議題（３）．グループ討議②〕

(株オオバ)

(未来マップの作成について、説明)

【Cグループ】

一つ目は、大井川鐵道を観光で目一杯活用しようということで、川根地区には温泉もあるので、例えばトーマスでまちをつくったり、SLを使って昔の景観を彷彿させるような大正村や明治村をつくったりなどしてはどうかと思います。また、温泉がある地区には温泉特区を指定するなどして、大井川鐵道沿線を利活用できればと思います。

二つ目は、牧之原台地に安心のまちづくりということで、先程の資料で水害マップがありました。大井川が氾濫してもここならば高台になるため、水害にはならないと思います。そのため、ここに新たにまちをつくるのもいいのではないかと思います。

島田金谷インター周辺には、「ゴールデンバレー」と名前を付けて、大手企業ではなく、地元の優良中小企業を集中させるのもよいかと思います。大手企業は業績が振るわなければ、すぐに撤退してしまうため、あくまでも地元の中小企業を呼び込むことが肝心だと思います。伊久美については、山間部ですが、豊かな自然もあり子育てには重要な要素だと思いますので、子育て世代をここに呼び込んではどうかと思いました。また、島田の中心街はおしゃれな街にしたいので、駅前や本通りなどに若者が集まるカフェなどをつくってはどうかと思います。

働く場所が少ないですが、あくまで観光を多くして空港周辺に宿泊施設を整備することや、現在は観光名所などが点で広がっていますが、これを面で繋げていくことも重要だと思います。島田市に来たら一日中遊べて、空港周辺で宿泊や買い物をしてもらい、最後は静岡空港で帰るというような一つの流れができるまちにしてはどうかと考えました。

【Bグループ】

Bグループでは、「稼ぐ」という視点で、空港や新東名周辺、これからできるアウトレットなどで積極的に稼ぐことを意識しました。

人の繋がりが人を育てるまちということで、今現在賑わっているようなエリアは、これからコンパクトにしていかなければいけないエリアになると思います。マップのポイントは、大井川の支流ごとに色々な文化がある場所を示していますが、こういった場所に立派な施設をつくりたいという訳ではありませんが、人が集まりやすいのではないかとするため、ネイチャースクールなど、色々な人が繋がるような場所ができればと考えました。

ネイチャースクールでどのようなことを学ぶかという、大井川を軸とした自然環境や防災のことで、災害の時にどのように市民同士が助け合うかなどを学ぶということで、拠点として山の家を使ってみてはどうかと思います。

【Aグループ】

Aグループは、医療ネットワークづくりと観光ネットワークづくりの2点で考えました。

まず、医療ネットワークづくりについて、初倉地区や金谷地区、川根地区にそれぞれ小さな診療所などの拠点をつくり、今ある市民病院とネットワークを形成してはどうかと考えました。例えば、在宅医療で言えば、近くの診療所で診察した場合でも、市民病院と情報の共有ができれば、個人の診療所でも詳細なデータを把握することができ、次に対処に

繋ぐことができるため、わざわざ市民病院まで足を運ばなくても効率的に出来るのではないかと思います。

次に観光ネットワークですが、未来マップに自転車で周遊できるようなルートを描いてみました。島田には既に蓬莱橋や茶畑などがあることに加え、今後アウトレットやマルシェなど色々な施設はできるため、その辺りを周遊できるように意識しました。市街地周辺は非常に景色の良い初心者向けのコースになるかと思います。北部地域は中・上級コースで山道自体が非常に人気で現在も外国人が多く訪れています。そういったルートをつくり、今ある自然が非常に魅力的だと思いますので、やりすぎない程度に整備を行うことも必要だと思います。また、現在市内には、2件の民泊ができる場所がありますが、古民家を利用して増やしたりなど、面白くなりそうな拠点や可能性がまだありますので、そういったことができればと思います。

〔フリータイム：休憩兼他グループの未来マップ見学〕

〔議題（４）. 全体討議（意見交換）〕

・各グループの未来マップを見せていただき、色々と思うところがたくさんあり、それを箇条書きで挙げていくと収集がつかなくなるのも作業を通して体感しました。グループテーマを決めさせていただいたのは、きっとそういうところで、何か新しいことを作り出していくとしても、一体感を出したり、ストーリーを持たせたまちづくりを考えていかないと、一つ一つが分断されてしまうのかなと思いました。まとまったものは良く見えるかもしれませんが、やはりこのまちで生きていくということを考えたときに、改めて一体感を持たせることが大切だと感じました。

・他のグループを見させていただいて、全体的に感じたことは、山の家や大井川沿いを観光名所にしようといった、観光に活用していくという考えがどのグループでもあったかと思うので、そこは全体の意見として反映させやすいのかなと思いました。

・都市計画ということ想像すると、まちに道路を通したり、大きな建物をつくったりなどをイメージしますが、大きな地図で見た場合にはむしろ道路などが想像できず、一番印象に残るのが大井川かなと思いました。島田市は大井川の中流域エリアに位置しますが、もう少し大きな視点で大井川沿いの周辺市町のことも考えながら、大井川の一部ということ踏まえたまちづくりができればと考えています。Bグループでは、大井川の支流という流域を意識したまちづくりがキーワードとして出てきていますので、道路とは違うまちづくり、地形や自然環境の中からヒントが得られたことがよかったかなと思いました。

・最近、島根県に行ってきましたが、川を活かした観光をしていました。川の中を船で周り、バス停のように停まる場所もありました。大井川の場合は長いので、降りる場所に困るかと思いますが、川の周りだけでなく、中も活かせたらと思います。

・Cグループの未来マップにある、島田市版特区を設けるとするのが面白い意見だと思いました。新東名の近くにマルシェをつくり、新東名のインター周辺には企業を誘致させるのもよいかと思います。また、新幹線新駅については、空港の直下ではなく、別の場所に新駅をつくっていただきたいと思います。日本は新幹線の駅のあるまちは発展していますので、20年先のリニアがこの辺りを走るときには、新幹線の島田の駅に戻ってきたいなと思いました。

・やはりまずは発展させていくのは駅前かなという印象が日頃からありました。駅前のシャッター街に色々な商業を集め、賑わいを取り戻すことができれば、島田市の印象も上がるのではないかと思います。そのため、駅前を発展させることが一番手っ取り早いかと思うので、そういうところもやっていければと思います。

・未来マップをつくってみて思ったのは、私たちは島田市に住んでいるので、自分達が気付く島田の良い所や足りないところ、こうしたいところなどがありますが、もしかしたら自分達が気付いていない部分や島田市はここが良いと外から見て初めて分かる部分もあるかと思います。そういうことが分かるデータが今後の未来マップに取り入れられるようにできればいいなと思いました。

【5. 開会】

(事務局)

皆様、ありがとうございました。1回目から本日の3回目まで、皆様から島田市のありたい姿や数多くのご意見、キーワードをいただきましたので、それらを事務局の方で計画の中に盛り込んでいきたいと思えます。次回10月の市民会議では、事務局からの提案という形で、現況整理をした上でご説明できるようにしたいと思います。次回の日程については現在調整中ですが、10月末頃に開催したいと思います。詳細については、また担当からご連絡をさせていただきたいと思えますので、よろしくお願ひいたします。

本日は、ありがとうございました。以上で第3回まちづくり市民会議を閉会いたします。

以 上